

エアバスとの取引拡大 新たに A380 フェアリング向けプリプレグ供給へ

横浜ゴム(株)(社長：南雲忠信)は、エアバスA380のフェアリング向けプリプレグを納入する計画で、現在、エアバスのヘタフェ工場(スペイン)で認定作業を受けている。すでに横浜ゴムは、A380向けウォータータンク(貯水タンク)、ウエストタンク(浄化槽タンク)の独占サプライヤーになっており、今年9月から出荷を開始している。横浜ゴムは、これら製品の納入を足掛かりとして、今後さらにエアバスとの取引拡大を計画している。

フェアリングは航空機の腹部(翼と翼の間)全体に取り付けられる流線型のおおいで、軽量・高強度のFRP(繊維強化プラスチック)が使用される。プリプレグは、心材となる補強繊維に樹脂を含浸させたシート状の材料で、これを重ね合わせ、成型、熱硬化させることでFRPを作る。A380にはカーボン繊維を用いたプリプレグを供給する計画で、生産に当たっては無溶剤化ラインを使用し、環境負荷の低減を図る方針。

横浜ゴムは世界的なタイヤメーカーであるとともに、ゴム、金属、複合材を用いた各種航空部品を製造販売する日本有数の航空部品メーカー。プリプレグについては、フェアリングをはじめ、フラップ、昇降蛇向けなどに、カーボン、ガラス繊維などを使用した各種製品を生産している。

エアバスA380は、客席数が555席にのぼる世界初の2階建て構造(フルツインデッキ)の超大型旅客機。2005年春初飛行、2006年就航を計画しており、すでに世界のエアラインから139機のオーダーを受けている。



フェアリングのイメージ図(資料提供：エアバス社)



プリプレグ

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム(株) 広報部 担当：多勢 新谷
TEL：03-5400-4531 FAX：03-3432-8430

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430